

●コレクティブハウス本町田

25㎡ (22戸) : ワンルーム 家賃 4.9 ~ 5.9万円 (即入居可)  
50㎡ (7戸) : 1LDK ~ 2DK 家賃 9.2万円 (即入居可)

所在地: 東京都町田市本町田  
最寄駅: 小田急線・JR横浜線 町田駅より徒歩25分、  
またはバス6分+徒歩3分

構造規模: RC造、地下1階 地上3階建て  
居住人数: 大人35名程度

コモンスペース: キッチン、ダイニング、リビング、ランドリー、  
ラウンジなど

付帯施設: 駐車場 (8千円~) 駐輪場 (登録料500円)、共用倉庫、  
多目的室、ゲストルーム他

共益費等: 1万円/月・人 以下を想定

入居時預金: <敷金>賃料2ヶ月分 (ペット飼育は3ヶ月)

<組合出資金>20万円/人以下を想定 (退居時全額返還の予定)

契約形態: 普通建物賃貸借契約 期間2年

更新: 可能、更新料は賃料の1ヶ月分

※共益費等や組合出資金は居住者組合で検討の上、決定



お知らせ

居住者のブログ・FB・インスタグラム  
実際の暮らしの様子はコチラから

- スガモフラット  
<https://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>  
<https://www.instagram.com/sugamons212/>
- コレクティブハウス聖蹟  
<https://www.facebook.com/ch.seiseki/>
- コレクティブハウス大泉学園  
[http://blog.livedoor.jp/ch4\\_oizumi/](http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/)
- タウンコレクティブ南小岩  
<https://www.facebook.com/tc.koiwa/>  
[https://www.instagram.com/minami\\_koiwa](https://www.instagram.com/minami_koiwa)

その他の空室情報はコチラ



目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

※事前に事務局までご一報ください。

TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp



Facebookページも公開中!

発行 / NPOコレクティブハウジング社 (CHC) ホームページ <https://www.chc.or.jp/>

〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アビタメジロ302

TEL: 03-5906-5340 FAX: 03-5906-5341 E-mail: info@chc.or.jp

コレクティブハウス本町田は、共有スペースの多さが魅力。そう、みながお金を出し合って広いスペースを共有するのです。入口には、明るい多目的ルーム。外からは丸見えではないので、集中するのにってこい。勉強会、もろもろのレッスン。そして、外につながる部屋なので、近隣に住む方々にも使ってもらえることができます。フリーマーケットできる? 町内会やちやう? お茶会もいっしょ。その向かいには、ゲストルーム。居住者のご両親、お子様、親戚、お友達がコレクティブハウスを訪れ、その上に宿泊していただけますね。中に進んで、広々すぎるスペース。奥には、人工芝生のコーナーがあります。見上げれば、三角形の吹抜。太陽をいっぱい浴びて、お昼寝するか。なんちゃってピクニックするか。早朝太極拳。早朝ヨガ。早朝チベット体操。そして、横を見れば、ラウンジがあるわけですが、その、窓は全開にできる。なんとスライド式のサッシです。芝生コーナー、ラウンジ直結のオープンエアです。初夏などは、爽やかな風が吹き抜けることでしょう。ラウンジの奥にはコレクティブ専用のキッチンがあります。キッチンにあるのは、業務用のコンビオープン、食洗機、その他、すぐでも洋食屋さんができそうです。ここで、プロ顔負けの料理を作るのは誰か? 私でないことは確かです。そして、流しの前には、丁度良い具合のカウンターが。これは・・・喫茶店。昔懐かしい喫茶店の趣。そして、夜となれば、のれんを下げてみれば、常連客が夕食を食べに来るような、居酒屋風情になる。平日、仕事なんかやってなかったら、私は、門番兼、居酒屋の女将兼、コーヒーマスター兼、管理人をやりたいものです。たくさんの方が住んで、思う存分このスペースを活用し、豊かで楽しい生活を送るようになって初めて、この場が生き生きと息づいてくるのでしょうか。そのためには、仲間が必要。1人でやっても楽しいけれど、2人、3人いたら、もっと楽しい。20人、30人いたら、もう感動ものです。もう。妄想が止まりません。その前に引越しなきゃ。(これから居住者になるM)

「投稿コーナー」投稿募集

「これこれ新聞」では、話題にしてほしい記事を読者の皆様より募集しています。投稿はコチラ↓  
ペンネームを添えて、collecollego@gmail.com まで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集!

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出して下さる、サポーターを募集しています。  
collecollego@gmail.comまでご連絡ください。

【編集後記】いよいよ町田にも新たなコレクティブハウスが完成しました。入居前に新しい建物に入って実際に寸法を計っていると、まるで上京した新卒の新入社員のような、もうすぐ新生活が始まるという少し懐かしい感覚になります。(編集部員O)



隔月刊 CHC

これこれ新聞

[リレー連載] コレクティブハウスとは: 月一回のミール当番、共有スペースの掃除、屋上や庭の緑の活動、様々な自主運営の活動グループ、月一回の話し合い(定例会)等を通じて、時間を共にして、話し合い、日々と関わり合う、ちょっと面倒くさい暮らし方。でもその引き換えに、安心安全な居住空間や、職場と家以外のコミュニティ、自分たちだけではやろうともしない・知ろうともしない体験が出来たり、「豊かな暮らし」を享受できる。それがコレクティブな暮らし!

コレクティブハウス本町田 2020年3月、入居開始しました



コレクティブハウス本町田 建物見学のご案内  
毎週土曜・日曜 (予約制)  
平日の見学もご相談ください  
①10:10~ ②11:10~  
③13:10~ ④14:10~ ⑤15:10~  
※各回50分程度、最大2組までの少人数でご案内します。  
【内容】建物見学を中心として「まちのもり本町田」の概要を説明します。  
【参加費】無料

3月21日(土)は 近隣へのお披露目を開催しました

当日は近隣住民のみなさんをはじめ、既存のコレクティブハウスの住人も訪れ、新しい建物や設備を見学しました。

企業寮だった建物をリノベーションし、コモン付賃貸住宅とコレクティブハウスが複合した新しい賃貸住宅として生まれ変わった「まちのもり本町田」がこのたび無事、竣工しました。

3月から入居が始まり、コレクティブハウスの暮らしもいよいよスタートしていきます。本紙4Pに、入居されるMさんが寄せてくださったコメントからも新しい暮らしへのワクワク感が伝わってきます。

豊かな暮らしを共にする居住者、まだまだ募集中です。建物のご案内と概要説明を短時間で行う「建物見学」を実施しています。詳しくは本紙4P、及びウェブサイトをご確認ください。

(担当コーディネーター 矢田浩明)



建物見学お申込みフォーム



コレクティブハウス本町田専用ウェブサイト



【コレクティブハウス本町田オープン記念】2/1 『沈没家族【劇場版】』上映会&加納土監督トーク 開催  
**ドキュメンタリー映画『沈没家族』とコレクティブハウス**

さらばワンオペ育児!  
 コミュニティの中での子育て

2月1日(土)は町田パリオで、「映画『沈没家族【劇場版】』を鑑賞して、知ってる他人の関わる子育てを考えるトークイベント」を開催しました。

映画は、1995年、東京・東中野のアパートに集った若者たちによる共同保育で1才～中学まで育てられた加納 土監督が、当時その共同保育に関わっていた大人たちや自身の親に話を聞きながらまとめたもの。『沈没家族』とは、当時の政治家が



「男女共同参画が進むと日本が沈没する」と発言したのに腹を立てた監督の母が命名したのだそうです。

映画を鑑賞したあとは、監督とコレクティブハウス住人が子育てや家族について

トークを行いました。

今回の上映会を企画して下さった、かぜっちさんのnoteから感想を一部抜粋して紹介します。

※ ※

映画「沈没家族」と「コレクティブハウス」、この二つで自分の中にとっても印象に残っている共通のエピソードは、「子供の運動会に住人みんなで応援に行ってしまう」ということでした。映画の中でも、コレクティブハウスの居住者から話を聞いても、そのエピソードをとともうれしそうに話しています。

正直、家族の場合は運動会の応援に行くという事はあるでしょう。でもそれ以外となると、どうなんだろう? 親しい関係の親戚、

親しい友人ということなら、行くこともあるでしょうが、あまり行くことってないんじゃないかな?

遠くの親戚より近くの他人という訳でもないでしょうが、コレクティブハウスの中では、単身者も家族もそれぞれの暮らしを尊重しながら、共同での暮らしも大事にされます。

毎月のミーティング、コモンミール、住居の共同作業をワーキンググループという形で行う活動等を通して、居住者がよく顔を合わせる機会があります。

そもそも、既存のコレクティブハウスに入居するときには、見学に行って、コモンミールと一緒に食べて。そうやって居住者との関係を考えた上で住みたいか? という事を考えて、住むことになりす。

こういうことを日常的に行っている中で育まれている関係は、家族同士の付き合いの中での子供という関係ではなく、大人も子供も日常当たり前一人の人として関わっているからこそ、運動会という場にも応援に行きたくなる。そんな心情が生まれているのだろうと考えます。物理的な立地などの環境要件も大事なことですが、一緒に暮らしを創っていくという要件も大事なんだと思います。

※ ※

●かぜっちさんのnoteはこちらから  
[note.com/think\\_family](https://note.com/think_family)

●『沈没家族【劇場版】』の情報ははこちらから  
[www.chinbotsu.com](http://www.chinbotsu.com)



居住者☆通信 CH聖蹟だより

ハウスの暮らし ～モミの木鉢づくり～

コレクティブハウス聖蹟の建物を設計して下さった建築士の篠田弘子先生から、竣工時にいただいたモミの木が大きくなり、10年目にして鉢替えの時期が来ました。そこで、やはりハウスのオープン時からお庭の設計に関わって下さり、その後もずっと緑の管理について植栽指導をして下さっている宮下美穂さんが、伸び伸びとモミが根っこをのばせるような素敵な鉢の提案をして下さいました!

鉢の材料は、宮下さんがお世話をされている山から杉の木を切り出してくれた木材です。クリスマスの時にはコモンスペースにツリーとして飾れるように、移動式で車輪も付ける予定です。こんな頼れる植栽指導者がいて下さって、本当にありがたいことです。

作業初日、まずは木の鉢がすぐに腐らないように柿渋を塗ることにしました。柿渋は防腐、防水効果があって、木に色つやもだしてくれます。塗料が駐車場について汚れないように、養生シートをしっかりと敷いて作業開始。既に組み立てサイズに切られた杉にハケで柿渋を塗って乾かします。今回、人工的なきつい臭いがない柿渋を使いましたが、それでも臭いな～と感じた住民は多かったようです。そしてこの日はあいにくの雨。組み立てを予定している次の日に「ちゃんと乾くかな?」と、用心深い住民が乾燥用の扇風機を当ててくれる。

次の日はいよいよ鉢の組み立てです。ハウスに関する作業はいつも、どのくらいの人が現れるか、その時の朝にならないとわからないため毎回ドキドキです。この日はハウスの住民の3分の2以上となる人数の人が参加、力仕事をこなしてくださる男性も沢山きてます! これなら安心。



木ねじを使って材料を固定していきます。インパクトドライバーを使ったことがある人もない人も真剣そのもの。かわいい女性たちは全身を使って押し込む

けど、「あれ～?入らない」「あれ～?曲がっちゃった…」と木も癖があるのでそうそう簡単にはいかないけれど、それも手作りの味。雑談しながら笑って作業が続きます。でっかい隙間はどなるのかな～と思っていたら、最後に数人の男性が木に乗って強制的に調整。これでいつもどういかなるの、すごいところ。そして、いつの間にか、大人二人が悠々入る乗り物になって、みんな遊んでる～!

こんな風に、もともとは地上庭のお仕事だけけど、やっているうちに大人にとっても遊びになっていく瞬間が私は大好きで、集まって住み、いろんな体験を共有する豊かさの一つだと思っています。年齢に関わらず、住民全員が同じ仕事をする事については意見がわかれるところですが、こういった日常の共同作業は学ぶところも多く、私にとっては楽しく癒される時間でした。

そして、やはり20人以上の大人がいると、仕事がとってもはかどり、マンパワーがあることってなんて素晴らしいのだろうと思わずにはいられません。この日も、2時間もかからず鉢作りと鉢替えが終わり。ついに、モミの木が、ハウスの玄関に飾られました。このモミの木がこれからも、長年元気に育ってくれますように～! (CH聖蹟居住者N)



CHCの活動 (2020年1月～3月)

- 1/12,2/2,2/16,3/15 創造的参加の場コーディネーター養成講座
- 1/19 つくる会「おじさんスナック」開催
- 1/16,2/13,2/14,2/25,3/11 事業相談
- 1/25 「障害あるなしにかかわらず共に暮らす形を考える」トーク&ワークショップ
- 1/26,2/9,2/23,3/1,3/10,3/13 まちのもり本町田現地見学
- 2/1 『沈没家族』上映会&加納土監督トーク
- 2/2,2/16,2/29,3/1,3/8,3/15,3/22 コレクティブハウス本町田ワークショップ
- 2/6,2/14,2/20,2/27,2/28 まちのもり本町田現場打ち合わせ
- 2/24 これからのハッピーな暮らしフォーラム in KYOTO
- 3/12 まちのもり本町田事業主(コプラス)主催 完成見学会
- 3/13 第四回理事会
- 3/21 まちのもり本町田CHC主催完成見学会



CHC 活動報告

ときどき家族プロジェクト京都主催

「ひとりではがんばらない! ～くらしの場づくり・つながりづくり～」

1月30日(木)は京都市、31日(金)は舞鶴市と、京都版コレクティブハウスの実現に向けて、今年もセミナーを開催しました。

京都市のセミナーは、参加者32名、子育て真っ最中の方々を中心としつつ、事業に興味を持って下さっている方も加わりました。今回のセミナーは「ひとりではがんばらない!～くらしの場づくり・つながりづくり～」ということで、暮らしの中で何らかのつながりを作っていきたいと考えている皆さんの励ましや参考になるように、前半は「場とつながりラボhome's vi」の山本彩代さんの「ファシリテーション講座」、後半はCHC狩野よりコレクティブハウスの紹介をしました。

山本さんが後半につなぐためのミニワーク



会場はウエダ本社のtraffic

ショップを「共同で住むとしたらどんな住まい」というお題にしてくださいお陰で、参加者それぞれが自分の思い描いた住まいのイメージをなぞりながらコレクティブハウスの話を聞いたことで、短時間で理解が深まったようです。

31日の舞鶴では11名の方が参加されました。舞鶴ならではの子育ての悩みや課題に少しでも届くように、テーマは「子育て世帯が今ほんとうに助けてほしいこと～あったらいいな、こんな家・まち・しくみ～」と題し、前半は「NPO法人まちづくりサポートクラブ」の谷口英子さんに、昨年10月から行っている「お風呂デイサービス」のお話を伺いました。

「お風呂デイサービス」では、「孤育て」でなかなか産後ゆっくりお風呂に入れないお母さん

セミナー開催報告

ちへのサポートとして、子どもをお風呂に入れてあげて、お母さんもゆっくりお風呂に入れたりお昼寝できるようなサポートを月1回行っています。

開始から数ヶ月で、1日に30人のお母さんが利用した状況を見て、谷口さんは「周りに気軽に助けてと言えない人がこんなにもいることに地域の大きな課題が隠れている」と言います。そういった状況の中、新たなつながりをつくり暮らしコレクティブハウスでの「知っている他人が関わる子育て」についてや、「集まって暮らす」一つの方法として空き家を活用したタウンコレクティブを、少しでも参考にしていただけたらという思いで紹介しました。

(狩野)